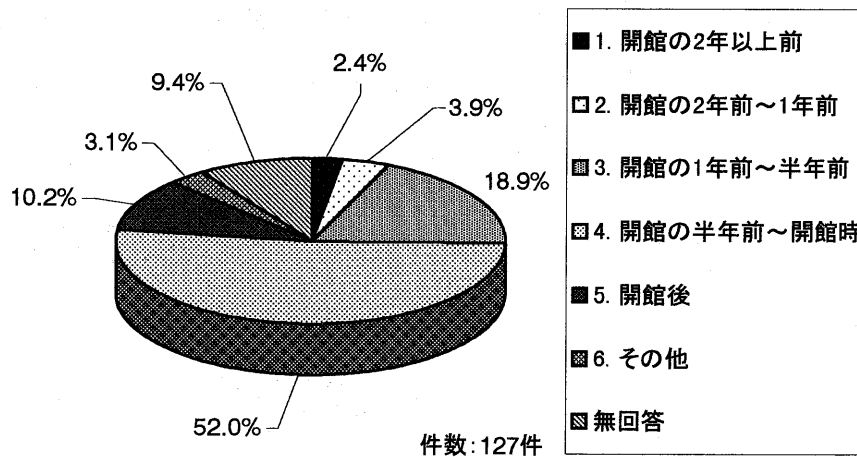


- 「開館後」になってから技術スタッフを選出・依頼したケースも13件(10.2%)あるが、舞台設備の安全な運用を考えると望ましいことではない。
- 自由回答欄にも、次のようなコメントが寄せられており、技術スタッフの早期選出・採用はホールの円滑な開館にとって重要な要件である。
 - 舞台関係の設備等について、委託業者の決定が開館2ヶ月前だったので、委託業者の意向がまったく反映できず、運用面で不都合がある。
- なお、その他には、常勤の技術スタッフがないケースも含まれている。

Q5-13. 技術スタッフ(専任の雇用スタッフ及び外部委託業者)はいつ頃選出・依頼しましたか。



注) 複数のケースがある場合は、もっとも早く採用したケース

(4) 運営体制に関する課題や反省事項

- 運営体制に関する課題や反省事項としては、「計画段階で運営体制に関する十分な検討・準備がおこなわれなかったため、開館後人員不足などの不都合が生じている」が最も多く44件(34.6%)、次いで「行政内の人員だけで対応しているため、専門的な知識や経験が不十分で運営が必ずしもスムーズではない」40件(31.5%)となっている。
- 自由回答欄でも「管理運営方法等を基本計画、基本設計の段階までに整理する必要がある」、あるいは、「技術スタッフを含めて、運営の専従体制を早期に組織することが重要」といったコメントが寄せられている。
- 一方、「運営体制の面で不都合や問題が生じたことはなく、すべて順調にいった」と回答したホールも26件(20.5%)ある。
- なお、「その他」としては次のような回答が寄せられた。
 - 施設の完成から開館までの期間が短かったため、運営スタッフ、技術スタッフの研修ができず、運営に支障をきたした。
 - 「休日」がとりにくい。夜間利用へのサービスが、現状の職員体制では難しい。
 - ホールオペレータをボランティアが行っており、育成等必ずしも順調とはいえない。

Q5-14. 運営体制に関する課題や反省事項として該当するものをお選びください(複数回答)。

